

# 入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表

(大学院 新入生用)

所属予定の専攻・コース

氏名

電話番号(携帯)

メールアドレス

## 【全員が提出するもの】

- 入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表(大学院新入生用)
- 入学料免除申請書
- 入学料徴収猶予申請書
- 家庭調書
- 世帯全員分の住民票(下表参照) ※世帯全員分と記載されているH30.1以降に発行のもの
- 所得証明書(下表参照)
- 入学料免除・徴収猶予関係調査票
- アルバイト等収入報告書
- 出身大学(学部)の成績証明書 ※卒業年月日が記載されているもの、卒業見込者は4月20日(金)までに提出。
- 長3封筒 ※自分の所属予定の専攻・コース名及び氏名を記入したもの

## 【該当者が提出するもの】 ○:必ず提出 △:状況に応じ提出 ×:提出不要 (就学者以外)

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 (最新のもの)	平成29年分 源泉徴収票	確定申告書 (控) 受付印がある もの	無職無収入 の申告書	雇用保険受 給資格者証 (写)	その他
給与所得者		○	○	○	×	×	×	△
平成29年、平成30年に就職 した人(予定含む)		詳細は別表のとおり						
平成29年、平成30年に退職 した人(予定含む)								
自営、農業、その他		○	○	×	○	×	×	△
年金、恩給等受給者		○	○	○	×	×	×	△
専業主婦		○	○	×	×	○	×	△
失業者		○	○	△	×	○	△	△
未就学児		○	×	×	×	×	×	△
その他		○	○	△	×	○	×	△

## (就学者)

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 (最新のもの)	証明書 (授業料免除 状況)	在学証明書	アルバイト料 支払(見込) 証明書	その他
<b>本人</b>		△	×	×	×	△	△
大学生(国立)		△	×	○	×	×	△
大学生(公立)		△	×	×	○	×	△
大学生(私立)		△	×	×	○	×	△
高専生(4.5年生)		△	×	○	×	×	△
高専生(1.2.3年生)		△	×	×	○	×	△
専門学校生		△	×	×	○	×	△
高校生		△	×	×	○	×	△
中学生		○	×	×	×	×	△
小学生		○	×	×	×	×	△

## (その他)

職業等	該当者(続柄)	提出書類	備考
障がい者		障がい者手帳等(写)	詳細は担当窓口で確認してください。
長期療養者		医師の証明書(発行から1年以内のもの)等	
風水害、盗難等の被害を受けた者		罹災証明書及び罹災額調査書等	
生活保護受給世帯		生活保護受給証明書等	
単身赴任で別居中の世帯		単身赴任の証明書、住居費等の実費を確認できる書類等	
両親の片方又は両方が死亡した者		戸籍抄本、死亡診断書等	
独立生計者		所得証明書、預金通帳(写)、1ヶ月当たりの生活状況調べ等	
その他		事情により大学が必要と認める書類等	

## (別表)

## 【平成29年、平成30年に就職又は退職した人(予定含む)】

職業等	該当者(続柄)	住民票	略歴 (H28.1～)	所得証明書 (最新のもの)	H30.3まで在学していることを証明できるもの	年収見込証明書	平成29年分 源泉徴収票	無職無収入 の申立書	雇用保険受給資格者証 (写)	退職(予定)証明書	退職金支給日・支給額 (予定)証明書	その他
H30.4から就職 (H30.3まで学生の場合)		○ 世帯全員分と記載されているもの。 H30.1以降に発行されたもの。	○ A4サイズ の用紙にメモ書きました もので可。	○ H30.3まで在学していることを証明できるものの提出により省略できる。	○ 在学証明書 学生証(写) など。 所得証明書を提出する場合は不要。	○ H30.4～H31.3分。 取得が困難な場合は月収見込み証明書等収入の月額が確認できるもの。	×	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。 (事情によって提出を求める場合があります。)
H29.1以降に就職		○ 世帯全員分と記載されているもの。 H30.1以降に発行されたもの。	○ A4サイズ の用紙にメモ書きました もので可。	○	×	○ H30.1～ H30.12分。 取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書(写)	○ ただし、 H30.1以降に就職した場合は不要。	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。 (事情によって提出を求める場合があります。)
H29.1～29.12に退職		○ 世帯全員分と記載されているもの。 H30.1以降に発行されたもの。	○ A4サイズ の用紙にメモ書きました もので可。	○	×	×	○ 退職金の源泉徴収票	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。 (事情によって提出を求める場合があります。)
H30.1～H30.3の間に退職		○ 世帯全員分と記載されているもの。 H30.1以降に発行されたもの。	○ A4サイズ の用紙にメモ書きました もので可。	○	×	×	○ 退職金の源泉徴収票	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。 (事情によって提出を求める場合があります。)

# 入学料免除・徴収猶予申請のしおり

《大学院新入生用》

鳴門教育大学  
学生課学生生活支援係

## I. 対象者

- (1) 本学の大学院学校教育研究科に入学する者で、経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年間（平成29年4月1日から平成30年3月31日）において、入学者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合（退職金・保険金・損害賠償等の臨時所得がある者は、免除されない場合もあります。）
- (3) 前記（2）に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

※ただし、現職教員については、入学料免除・徴収猶予の対象とはなりません。

## II. 評価基準

選考の基礎となる家計及び成績の評価基準は以下のとおりです。ただし、免除可能人数が限られているため、基準該当者の人数によっては、半額免除しか認められない場合や、不許可となる場合があります。申請される方は、この点を了解いただくとともに、半額免除又は不許可となった時に入学料が納付できるよう心がけておいてください。

### ○家計評価の基準

家計の評価は、世帯の1年間の総所得金額により行います。（住宅建設、その他の借財は考慮できません。）また、配偶者がいなく、父又は母がいる場合は、独立生計者として認めることはできません。（私費外国人留学生を除く。）

経済的理由により入学料の納付が困難であることを認定するための家計評価基準については、所得の種類・特別控除額・世帯人数等により異なるため一律に説明することはできません。

### ○成績評価の基準

- ・大学院1年については、出身大学（大学院を修了した場合でも学部の成績）の3段階評価成績換算値
- ・私費外国人留学生1年については、入学試験の得点割合

## III. 申請手続

- (1) 提出方法 原則として「書留」で郵送  
封筒の表には「入学料免除（徴収猶予）申請書類在中」と朱書きしてください。  
直接窓口への持参による受付も可能ですが、窓口が混雑しますので郵送での手続きにご協力願います。直接持参する場合の受付時間は、午前8時30分から17時15分までとします。（ただし、土日祝日は除く。）

- (2) 提出期限 前期選抜及び中期選抜合格者：平成30年1月9日（火）（必着）  
後期選抜合格者：平成30年3月23日（金）（必着）  
期限を経過したものは受理できません。
- (3) 提出先 〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748  
鳴門教育大学学生課学生生活支援係
- (4) 結果通知 学生掲示板にて周知（5月下旬予定）し、学生課学生生活支援係窓口にて通知書を交付します。
- (5) 注意事項 入学料免除・徴収猶予申請者は、結果が判明するまでは入学料の徴収が猶予になります。入学料免除・徴収猶予申請者又は入学料免除・徴収猶予申請をしようとする者が入学料を納付した場合は、入学料免除・徴収猶予の資格を失います。

※免除を許可されなかった者及び半額免除を許可された者は、その決定が告知された日から起算して14日以内に入学料を納付するか、入学料徴収猶予の申請を行ってください。入学料徴収猶予の申請を行わない者又は入学料徴収猶予が許可されなかった者は、その決定が告知された日から起算して14日以内に入学料を納付してください。（入学料徴収猶予が許可されると8月末日まで入学料の徴収が猶予されます。入学料徴収猶予の申請は、入学料免除申請と同時にすることもできます。）

#### IV. 提出書類

##### 【必ず提出するもの】

- (1) 入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表
- (2) 入学料免除申請書・入学料徴収猶予申請書（いずれか又は両方）
- (3) 家庭調書
- (4) 住民票・・・「**世帯全員**」と記載されたH30.1以降発行のもの  
※生計が同じで、学資負担者の世帯と住民票が別となる者(就学者を除く)がいる場合は、それぞれの世帯全員の住民票と生計同一である旨の申立書を提出してください。
- (5) 所得を証明する書類・・・**平成28年分所得証明書（最新の所得証明書）及び平成29年分の収入を証明する書類の写し**  
(平成29年分源泉徴収票または平成29年分確定申告書(控)等)  
※平成29年分所得証明書の提出が可能な場合は、H29年分の収入を証明する書類は不要です。  
※「H28年分所得証明書」と「H29年分源泉徴収票又はH29年分確定申告書(控)等」の両方を提出してください。
- (6) 入学料免除・徴収猶予関係調査票
- (7) アルバイト等収入報告書
- (8) 出身大学の成績証明書・・・卒業年月日が記載されているもの。  
ただし、**卒業見込者は4月20日(金)までに提出**。（私費外国人留学生を除く。）
- (9) 長3封筒（宛名欄に自分の所属予定の専攻・コース及び氏名を記入したもの）

##### 【該当する場合に提出するもの】

※入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表を参照してください。

#### V. 提出書類記入上の注意

1. 入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表  
所属予定の専攻・コース、氏名、電話番号（携帯）、メールアドレスを記入し、【該

当者が提出するもの】に該当がある場合には、該当者（続柄）を記入してください。  
（重複する場合があります。）

2. 入学料免除申請書又は入学料徴収猶予申請書

- (1) 氏名欄は、必ず本人の自署としてください。
- (2) 「免除理由」欄は、必ず本人が詳細に記入し、欄が不足するときは裏面又は別紙（様式自由）に記入して添付してください。
- (3) 入学料免除・徴収猶予申請提出書類チェック表に必ずレ点を入れてください。

3. 家庭調書

必ず本人が記入してください。（家庭調書記入例 参照）

4. 住民票（必ず「**世帯全員**」であることが記載されたもの）

同一生計内の世帯全員（本人及び就学者の内、世帯と住民票を別にしている者の住民票だけは提出しなくても構いません。）の記載がある住民票を提出してください。なお、「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすること（別居独立の兄弟姉妹を除く。ただし、この場合、その状態を証明するため別居独立していることを証明する住民票を添付することが必要。）です。具体的には、父母等と同居する家族全員と、就学や病気療養等により別居している家族が該当します。

5. 所得を証明する書類

収入の有無にかかわらず 同一生計内の世帯全員（ただし、就学者については不要。独立生計者については本人分も必要。）について提出してください。

「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすること（別居独立の兄弟姉妹を除く。）です。

なお、様式については、市区町村役場備え付けの証明書で提出してください。

※ほとんどの市区町村役場では、5月頃までは平成29年分（H29.1.1～H29.12.31）の所得を証明する所得証明書を発行していませんので、**その場合は平成28年分（H28.1.1～H28.12.31）の所得証明書と平成29年分源泉徴収票（給与・年金所得者）又は平成29年分確定申告書（控）（給与所得者以外）等を併せて提出してください。**

区 分	証 明 書 類 等	発 行 場 所
就学者以外の者	最新の所得証明書 ※同一生計内の世帯全員分	市区町村役場
給与所得のある者	平成29年分の給与所得の源泉徴収票 （写しで可）	勤務先 市区町村役場
営業所得，農業所得，その他の事業所得，不動産所得，利子・配当及び雑所得がある者	平成29年分の確定申告書（控）（税務署又は役場の <b>受付印があるもの</b> ）	（税務署及び市区町村役場で申告したものの控え） 市区町村役場

平成 29 年に就職， もしくは平成 30 年 に就職（予定を含 む）した者	平成 30 年分（1 月～12 月）の年収見込証明書 ※年収見込証明書の取得が困難な場合は，月収（見 込）証明書又は最新 3 か月分の給与明細書のいづれ かを提出してください。ただし，この場合は賞与が あるものと仮定して計算しますので，賞与がない場 合はその旨を書面で申し出てください。	勤務先 提出書類チェック表 の別表参照
平成 29 年に退職， もしくは平成 30 年 に退職（予定を含 む）した者	退職（見込）証明書及び退職金支給日・支給 額（見込）証明書（ <u>支払われない場合もその 旨記載した証明書</u> ）	勤務先 提出書類チェック表 の別表参照
年金・恩給等の受 給者（予定を含む）	平成 29 年分の公的年金等の源泉徴収票の写し 又は支給窓口発行の最新の年金交付（改定） 通知書（ハガキ）又は証書の写し <b><u>遺族，母子，傷害，個人年金等も含まれます。</u></b>	日本年金機構 各関係機関
児童扶養手当を受 給している者	児童扶養手当支給額証明書等（支給額のわか るもの）	市区町村役場， 福祉事務所等
無職無収入の者	無職無収入の申立書	
失業者	雇用保険受給証明書の写し（受給期間が満了 している場合は無職無収入の申立書）	ハローワーク

6. 入学料免除・徴収猶予関係調査票

事実をありのままに記入し，申請者全員が提出してください。

7. アルバイト等収入報告書

本人及び配偶者にアルバイト等の収入（見込）がある場合の報告書ですが，**収入の有無に関係なく申請者全員が提出**してください。

8. 出身大学の成績証明書

**私費外国人留学生を除く**申請者全員が提出してください。（授業料免除の申請をす  
る場合，2部提出する必要なし。）

また，現在大学4年生の場合は，卒業年月日が記載された成績証明書を**4月20日（金）  
までに**，学生課学生生活支援係へ提出してください。

**提出がない場合は書類不備により，免除申請は不許可になります。**

9. 長3封筒

結果通知を封筒に入れて交付します。宛名欄に自分の所属予定の専攻・コース及び  
氏名を丁寧に記入して提出してください。

10. 証明書（授業料免除状況）

この証明書は，就学者（兄弟姉妹）の授業料免除状況を証明するものです。

**「入学料免除・徴収猶予関係調査票」の1で「いる」と記入した者のみ免除の有無  
にかかわらず証明書を提出してください。**ただし，高校生以下（高等専門学校生につ  
いては3年生以下）の就学者は不要です。

11. アルバイト料支払（見込）証明書

「アルバイト等収入報告書」で「有」と記入した者のみ提出してください。本人又は配偶者にアルバイト等の収入がある人は、平成 30 年分(H30.1.1～H30.12.31)の収入（見込み）について証明してもらってください。ただし、平成 29 年分（H29.1.1～H29.12.31）にアルバイトで得た金額と平成 29 年度(H29.4～H30.3.31)に受給した奨学金（返還の必要がないもの）の合計金額が 100 万円を超えていない場合は、必要ありません。

12. 1 か月当たりの生活費状況調べ

私費外国人留学生，独立生計者と認められる者のうち，配偶者が無い者又は配偶者に十分な収入がないと思われる者は，平成 30 年度の予定を記入して提出してください。それ以外の者の提出は不要です。

13. その他，家族及び本人が次の区分欄に該当する場合は，各証明書を提出してください。

平成 30 年 4 月現在で高校生以上の就学者がいる世帯	各学校指定の在学証明書（4 月 1 日以降の発行日のものが必要なので，他の書類とは別に <u>4 月 20 日（金）までに提出してください。</u> ） なお，「証明書（授業料免除状況）」の提出がある場合は不要です。（ただし，引き続き，前年度と同じ学校に在籍している場合に限る。）	就学先 提出書類チェック表 参照
障がい者のいる世帯	障がい者手帳等の写し	都道府県，病院等
※長期療養者のいる世帯（申請日現在において6か月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者）	・医師の証明書（ <u>長期療養を要する旨が記載されたもの</u> ）又は6か月以上にわたる長期療養が証明できる書類（発行から1年以内のもの） ・経常的に支出する金額を証明できるもの（領収書等）	病院等
※風水害等の被害を受けた者	・罹災証明書及び罹災額証明書 ・損害保険等支払証明書	市区町村役場等 保険会社
※盗難等の被害を受けた者	被害届出証明書	警察署
生活保護受給世帯	生活保護受給証明書等（受給金額がわかるもの）	市区町村役場， 福祉事務所等
主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯	・単身赴任の証明書 ・住居費等の実費が確認できるもの	市区町村役場， 勤務先等
※学資負担者が入学前1年以内に死亡した場合	・死亡確認ができる書類（戸籍抄本，死亡診断書等） ・生命保険金，退職金等の金額を確認できる書類	市区町村役場， 病院等 保険会社，勤務先等

家族構成に変更がある場合（世帯構成員が別居独立した場合など。）	該当者の住民票など、世帯から別居独立していることが証明できる書類	市区町村役場等
その他特別な事情について	免除選考を行うため、大学が必要と認める書類等	

※については、保険・損害賠償等による補填分を差し引いてください。  
なお、申請書類及び証明書類の記載に虚偽の事実が判明した場合は許可を取り消すことがあります。

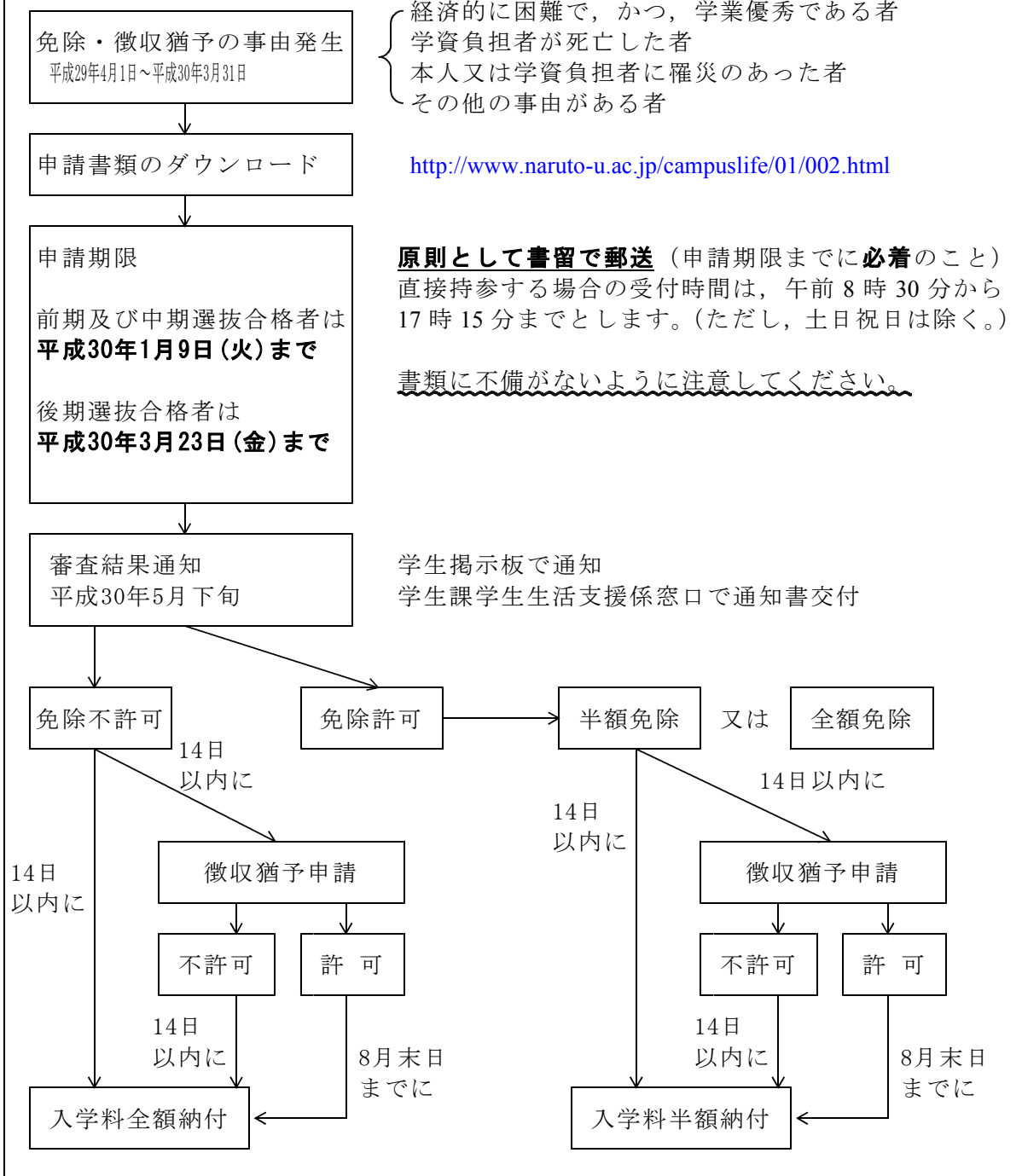
(参考) 就学者及び未就学児に係る必要証明書類

	住民票	在学証明書	証明書（授業料免除状況）
大学生（国立）	△	×	○
大学生（公立，私立）	△	○	×
高専生（4，5年生）	△	×	○
高専生（1，2，3年生）	△	○	×
専門学校生	△	○	×
高校生	△	○	×
中学生	○	×	×
小学生	○	×	×
未就学児	○	×	×

○：必ず提出      △：なくてもよい      ×：不要



## 入学料免除・徴収猶予のフローチャート



提出書類により取得した個人情報は、入学料免除・徴収猶予者選考の事務手続きのために利用し、その他の目的には利用されません。

# 入学料免除申請書

平成 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

所 属

平成 30 年度入学

氏 名

下記により入学料免除を受けたいので、許可くださるよう

関係書類を添え、申請します。

## 記

免除を受けたい理由（詳細に記入のこと。）

※「経済的に苦しいから」「アルバイトをする時間がないから」等、簡潔な表現ではなく、具体的な状況を記入すること。また、その状況を証明するものがあれば添付すること。

(注) 氏名は、必ず本人が自署すること

# 入学料徴収猶予申請書

平成 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

所 属

平成 30 年度入学

氏 名

下記により入学料徴収猶予を受けたいので、許可くださるよう関係書類を添え、申請します。

## 記

徴収猶予を受けたい理由（詳細に記入のこと。）

※「経済的に苦しいから」「アルバイトをする時間がないから」等、簡潔な表現ではなく、具体的な状況を記入すること。また、その状況を証明するものがあれば添付すること。

(注) 氏名は、必ず本人が自署すること

# 家庭調書

				学籍番号						
フガナ				所属		学校教育研究科 第 年次				
氏名				所属		学校教育学部 第 年次				
本人住所		〒 ( ) 番 ( )		家族住所		〒 ( ) 番 ( )				
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)	
		父				年			千円	千円
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
	母				年			千円	千円	
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
	所得金額(就学者を除く家族)合計								①	千円
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)			
	本人			国立鳴門教育大学		※自宅・自宅外	奨学金	千円		
				立		※自宅・自宅外				
				立		※自宅・自宅外	アルバイト	千円		
				立		※自宅・自宅外				
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)							②	千円		
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号	長期療養者	本人との続柄	病気の状況			
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得		
	(収入金額を記入)	営業種目 ( )		農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種 ( )		退職金 千円		
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態		野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円		
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※ 1 個人経営 2 同族会社 3 その他 ( )		その他 ( )		千円		保険金 千円		
	専従者給与 千円	設備		従事者 家族 人		千円		資産譲渡 千円		
	年金・恩給 千円	機械 車両 台		使用人 人		千円		山林所得 千円		
	扶助料 千円	その他 ( )		米・麦・雑穀 ㎡		その他 ( )		その他 ( ) 千円		
	その他 ( ) 千円	従事者 家族 人		野菜・果実・園芸等 ㎡		千円		千円		
		使用人 人		その他 ( ) 千円						
		売上高計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		
	収入金額計(税込) 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円			
	所得金額(税込) 千円		差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②) の合計								③	千円	

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 家 庭 調 査 書

(平成30年4月1日現在)

					学籍番号	17720001 ※新入生は記入しない					
フリガナ	カト 教子				所属	学校教育研究科	(大学院生はこの欄にコース名を記入) 第 年次				
氏名	カト 教子					学校教育学部	(学部生はこの欄にコース名を記入) 第 1 年次				
本人現住所	〒 ( 772-0051 )  ☎ ( 090-1234-5678 ) 鳴門市鳴門町高島字中島99-7 学生宿舎7-201				家族住所	〒 ( 770-8501 )  ☎ ( 088-626-XXXX ) 徳島市新鷹町2-24					
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)		
	父	カト 学	51	農業	33年	自宅		千円	1,561千円		
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )										
	母	カト 育美	47	農業	22年	自宅		1,200	記入しない		
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )										
	祖父	カト 大吉	80	無職	年	年金受給者		1,269	記入しない		
	兄	カト 勝夫	25	会社員	2年	徳島建設㈱		3,043	記入しない		
	姉	カト 文	24	家事手伝い	年						
	所得金額(就学者を除く家族)合計								① 記入しない 千円		
	就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)		
本人	カト 教子	22	国立鳴門教育大学大学院		1	※自宅・自宅外	奨学金	360千円			
兄	カト 勉	20	国立徳島大学		3	※自宅・自宅外					
妹	カト 潮美	17	県立徳島高等学校		3	※自宅・自宅外	アルバイト	57千円			
							立	※自宅・自宅外			
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)								② 446千円			
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号		長期療養者	本人との続柄	病気の状況			
	姉	〇〇〇〇 3級		12345			祖父	〇〇〇〇〇			
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得			
	(収入金額を記入)	営業種目 ( )		農作物 作付延面積 ① 麦・雑穀 10a ② 野菜・果実・園芸等 20a その他 ( ) a		職種 ( )		退職金 千円			
	給与・賃金(賞与を含む) 3,043千円	営業形態 ※ 1 個人経営 2 同族会社 3 その他 ( )		従事者 家族 1人 使用人 ( )		家賃・地代		退職一時金 千円			
	役員報酬(賞与を含む) 千円	設備 機械 両 台 車 両 台 その他 ( )		従事者 家族 1人 使用人 ( )		利子・配当		保険金 千円			
	専従者給与 1,200千円	従事者 家族 1人 使用人 ( )		① 麦・雑穀 1,468千円 ② 野菜・果実・園芸等 3,879千円 その他 ( )		その他 ( )		資産譲渡 千円			
	年金・恩給 1,269千円	売上高計 千円		収入金額計 5,347千円		収入金額計 千円		山林所得 千円			
	扶助料 千円	必要経費 千円		必要経費 3,786千円		必要経費 千円		その他 ( ) 千円			
	その他 ( ) 千円	収入金額計(税込) 5,512千円		必要経費 千円		必要経費 千円		収入金額計 千円			
	所得金額(税込) 記入しない 千円	差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 1,561千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
	所得金額(①) + 本人収入(②)の合計								③ 記入しない 千円		

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 入学料免除・徴収猶予関係調査票

(H30 入学料)

申請者氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 授業料免除状況

就学者（兄弟姉妹）のうち、国立（公立，私立は関係ありません。）の高専以上の学校（高専（4年，5年），大学，大学院等）に行っている者が（ いる ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い る . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

氏 名	学校（学部）等名	入学年度	平成29年度免除状況	
			前 期	後 期
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無

(注) 全：全額免除，半：半額免除，不：不許可，無：申請なしまたは該当なし

## 2. 奨学金関係

申請者本人が平成29年度（H29. 4. 1～H30. 3. 31）に奨学金を受給して（ いた ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い た . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

奨学金の名称	受給期間	月 額	年 額	貸与・給与	平成 30 年度 継続の有無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無

(注) 貸与：返還が必要な奨学金（例：日本学生支援機構奨学金），給与：返還の必要がない奨学金

日本学生支援機構奨学金は貸与（返還の必要がある奨学金）であるため，本人の収入として算定しませんので，「家庭調書」の奨学金（年額）欄に記入する必要はありません。

# アルバイト等収入報告書

(H30 入学科)

本人または配偶者の収入について

1. 前年 (H29. 1. 1~H29. 12. 31) に収入がありましたか。 (はい・いいえ)
2. 当年 (H30. 1. 1~H30. 12. 31) に収入がある予定ですか。 (はい・いいえ)

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払(見込)証明書」を添付してください。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額 (年額・税込)		備 考
			平成29年分 (1月~12月)	平成30年分 (1月~12月)	
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者

- 注) 1. 平成29年分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。  
2. 平成30年分の収入金額は、1月から2月までの間に実際に得た金額と、3月から12月 (見込額) に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

申請者 (学部・大学院) 第 年次

氏名 (自署)

---

# アルバイト等収入報告書

本人または配偶者の収入について

1. 前年（H29. 1. 1～H29. 12. 31）に収入がありましたか。  はい・いいえ

2. 当年（H30. 1. 1～H30. 12. 31）に収入がある予定ですか。  はい・いいえ

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払（見込）証明書」を添付してください。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額（年額・税込）		備 考
			平成29年分 （1月～12月）	平成30年分 （1月～12月）	
例. ○○宅	家庭教師	H29. ○～H30. ○	○○円	○○円	本 人 配偶者
〇〇スーパー	レジ	H29. 5～H30. 2 注)2を参照	57,000円	21,000円	<input checked="" type="radio"/> 本 人 配偶者
〇〇スーパー	レジ	H30. 3～H30. 7 注)2を参照		16,000円 (見込額)	<input checked="" type="radio"/> 本 人 配偶者
△△スーパー	レジ	H30. 4～H30. 12		70,000円 (見込額)	<input checked="" type="radio"/> 本 人 配偶者
					本 人 配偶者

注) 1. 平成29年分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。

2. 平成30年分の収入金額は、1月から2月までの間に実際に得た金額と、3月から12月（見込額）に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成30年2月1日

申請者 ( 学部 ・  大学院 ) 第 1 年次

氏名（自署） 鳴 門 教 子



# 証明書（授業料免除状況）

国立	※大 学 大学院	※学 部 研究科	年
国立	高等専門学校		年

氏名（自署）

このたび、鳴門教育大学に在学中の私の <sup>※</sup> 兄・弟・姉・妹（氏名 ）が、  
 ※ 入学料免除・徴収猶予，授業料免除の申請をいたしますので，授業料免除状況等を下記により証明願います。

### 記

入学年度	平成 年度入学					
通学状況	※ 自宅・自宅外 通学					
平成 29 年度免 除状況	前期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	平成 30 年度入学のため、該当しない
		円	円			
	後期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	平成 30 年度入学のため、該当しない
		円	円			

（注）※には，○印を記入してください。

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

大学 学部

高等専門学校

係 氏名 (印)

# アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学 （学部・大学院） 年次

申請者氏名

このたび、免除等の申請（入学料免除・徴収猶予、授業料免除、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

## 記

学 生 氏 名	
仕 事 内 容	
雇 用 期 間	平成 年 月から平成 年 月（予定）まで
平成30年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	円（ 月から 月（予定）まで 月分）

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

雇用者住所

雇用者氏名

印

電話番号（ ） —

# アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学（学部・大学院） 1 年次

申請者氏名 鳴門教子

このたび、免除等の申請（**入学料免除・徴収猶予**、授業料免除、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

記

学生氏名	鳴門教子
仕事内容	コンビニエンスストア レジ
雇用期間	平成30年4月から平成31年3月（予定）まで
平成30年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	107,000円（4月から12月（予定）まで9か月分）

上記のとおり証明します。

平成30年2月1日

雇用者住所 鳴門市鳴門町高島字

雇用者氏名 高島育夫

印

電話番号 (088) 633 - ××××

# 年間収入(見込額)証明書

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

雇用年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

証 明 額 \_\_\_\_\_ 円

## 給与支払状況

対象月	支払(予定)額	対象月	支払(予定)額
平成30年1月	円	平成30年10月	円
平成30年2月	円	平成30年11月	円
平成30年3月	円	平成30年12月	円
平成30年4月	円	平成31年1月	円
平成30年5月	円	平成31年2月	円
平成30年6月	円	平成31年3月	円
平成30年7月	円	夏期賞与	円
平成30年8月	円	冬期賞与	円
平成30年9月	円		
合 計			円

年間収入(見込)額について上記のとおり証明します。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

所 在 地

事業所名

代表者名

印

# 無職無収入の申立書

平成 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

免除申請者氏名 \_\_\_\_\_

申立者氏名  
(申請者との続柄) \_\_\_\_\_ ( )

平成 30 年度入学科免除・徴収猶予の申請にあたり、申立者は下記のとおり無職無収入であることに相違ありません。

記

無職である事情や現在の状況（具体的に記入すること）

(注) 申立者が自署すること

# 1 か月当たりの生活費状況調べ

(H30 入学料)

収 入		支 出	
1 父母等からの給付額	円	1 食費	円
		2 住居費	円
2 アルバイト等	円	3 光熱水費	円
		4 通学交通費	円
3 奨学金等	円	5 教育費	円
		6 小遣い	円
4 その他 ( )	円	7 その他 ( )	円
合 計	円	合 計	円

備 考 (生活費が不足する場合の補充方法等)